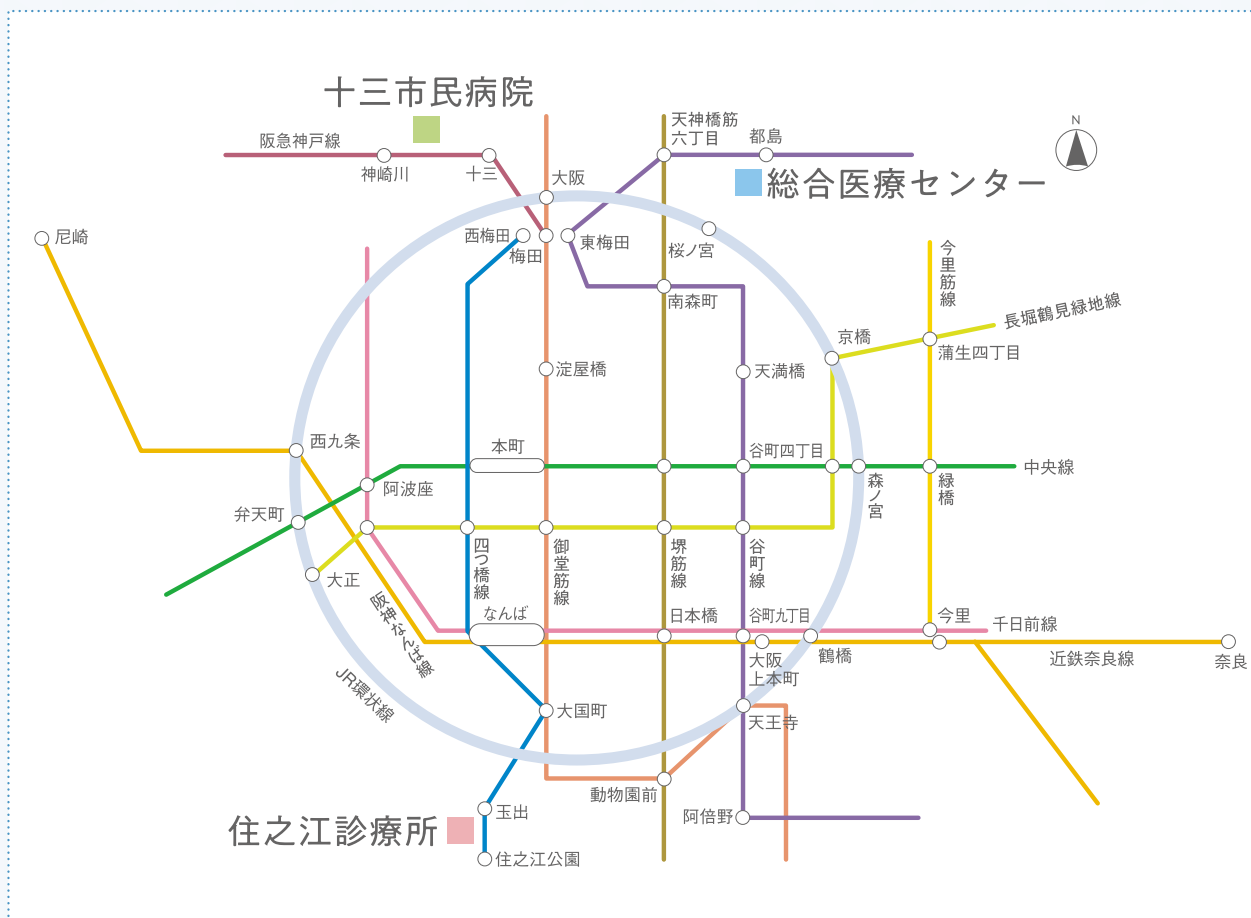


ACCESS GUIDE

[アクセスガイド]



十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL.06-6150-8000



● 阪急神戸線「神崎川」駅から南東へ徒歩約8分

総合医療センター

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-1221



● 大阪メトロ谷町線「都島」駅2番出口から西へ徒歩約3分
● JR大阪環状線「桜ノ宮」駅東出口から北へ徒歩約7分



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
TEL.06-6929-3687 FAX.06-6929-7099
<http://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/>



令和4年4月

RECRUIT BOOK

RESIDENT

臨床研修医 募集案内

OSAKA
CITY
HOSPITAL



地方独立行政法人
大阪市民病院機構

大阪市立 総合医療センター | 大阪市立 十三市民病院 | 大阪市立 住之江診療所 |

市民とともに、 明日へ。

高い専門性と
幅広い視野、
人間性をそなえた
「総合臨床医」をめざす。

わたしたちは大阪市の中核病院として
市民の皆さまに信頼され、
地域に貢献する医師の育成をめざしています。
高度に専門分化した診療科で専門性を高めることも、
幅広い症例を経験し
全人的に診療する力をつけることもできる環境で、
あなたが理想とする医師像に近づいていきましょう。

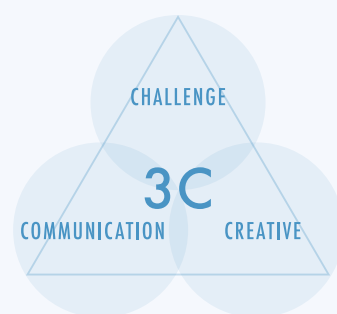
大阪市民病院機構の基本理念

広く市民に信頼され、人間味あふれる温かな医療を提供する病院をめざします

基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳を尊重します
2. より安心で信頼できる良質な高度専門医療を提供するとともに、医療水準の向上へ貢献します
3. 大阪市の中核病院として、地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化します
4. 医療を支える優れた人材を育成します
5. 職員が意欲的に働くことのできる、働きがいのある職場環境を作ります
6. 継続して良質な医療を提供できるよう、健全な経営基盤の確立に努めます

大阪市民病院機構の「3C」



CHALLENGE

常に問題意識を持ち
変化をおそれずに
目標に向かって行動できる人

COMMUNICATION

病院で働くすべての職員と協力し
課題解決にあたれる人

CREATIVE

既存の方法・慣習にとらわれることなく
自由な発想で仕事ができる人



01

人々の安心を守る 最後の砦（セーフティネット）

大阪市の中核病院として、
総合的かつ良質な高度専門医療を提供。
人々の健康と安心を守る“最後の砦”として
市民の信頼に応えます。

02

地域がん診療連携拠点病院 小児がん拠点病院

「地域がん診療連携拠点病院」と
「小児がん拠点病院」の指定を受け、
幅広い年齢層に対して専門的で質の高い
がん医療を提供しています。

03

専門分野だけでなく、 基本的臨床能力を確実に習得

豊富な症例数と充実した指導体制で、
専門分野の高い技術だけでなく、
幅広い分野の基本的臨床能力を習得できます。

臨床研修病院としての役割・理念・基本方針

- | | |
|------|---|
| 役割 | 基幹型臨床研修指定病院である大阪市立総合医療センターでは、質の高い医療を患者さんに提供するだけでなく、社会の医療福祉に広く貢献できる若手医師の育成を担っています。 |
| 理念 | ●医師としての人格を涵養し、人間味あふれる温かな医療を実践するにふさわしい医師を育成します。
●頻繁に関わる疾病又は負傷に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけ、チーム医療を実践するとともに、高度な専門医療を学び、広く市民に信頼され地域に貢献することができる医師の育成をめざします。 |
| 基本方針 | ●専門医療に特化するだけでなく、基本的な臨床能力（態度、技能、知識、情報収集能力、総合的判断力）を確実に習得する。
●患者及びその家族に信頼されるコミュニケーション能力を習得し、全人的な医療を実践する。
●チームの一員としての自覚と協調性を持ち、看護部門、医療技術部門等との連携・協力によるチーム医療を実践する。
●質の高い医療を提供できるよう、生涯に渡って学び続ける姿勢を養う。 |

研修医たちの1日

A DAY IN THE LIFE OF A RESIDENT



初期臨床研修医 勤続2年目

清水 亮子さん
慶應義塾大学 令和3年3月卒

教育熱心な先輩の下、成長を実感する日々。

日々の業務は、患者さんを診察し、対応について上級医に相談した上で方針決定をしたり、手術に参加し縫合をすることなどです。やりがいを感じるのは、患者さんの病状が改善し感謝してもらった時や、他職種との連携がうまくいった時。先輩や看護師が非常に教育熱心で、成長の機会が数多くある職場です。



8:00~

回診・処置

カルテで夜間帯の患者さんの状況や検査結果を確認し、入院患者さんを診察したのちにカルテ記載を行います。



13:00~

新規入院患者 外来患者の診察

新規入院患者さんを診察した上、入院時記録を記載し、上級医と方針を決定します。



16:00~

カンファレンス・抄読会

多職種カンファレンスや科をまたいだカンファレンスが多数開催されています。研修医が発表する機会も多くあります。



18:00~

勉強会

ほぼすべての診療科の上級医から週2回、研修医向けにレクチャーが開催されています。



専攻医(内科) 勤続3年目

堤 将也さん
大阪市立大学 平成30年3月卒

正しい治療のため、経験と知識を積み重ねる。

研修では、内科医に必要な基礎の医療経験を重ねるとともに、専門医に進むにあたっての専門知識を習得します。研修の中で、違う疾患を疑われ入院となっていた患者さんに、上級医の指導の下検査を進めた結果、他の確定診断がつき、正しい治療を行えたことが強く印象に残っています。



9:00~

気管支鏡 検査

肺癌疑いの患者さんの診断などを主な目的とし、上級医とともに内視鏡室で行います。



他の業務がない時間

病棟業務

日々の業務の中心的位置づけにあたります。入院患者さんの治療を行うとともに、退院後の加療継続について調整します。



13:00~

外来業務

入院治療後退院した患者さんのフォローアップや他院からの紹介初診患者さんの診察を行います。



17:15~

カンファレンス

合同カンファレンスと科内カンファレンスがあり、それぞれで治療方針の決定や情報共有を行います。



専攻医(外科) 勤続3年目

佐井 佳世さん
宮崎大学 平成30年3月卒

多くの手術を経験し、一人前の外科医を目指す。

手術の件数や種類が多く、common diseaseから稀な疾患まで幅広い症例を経験できることが理由で、当院の研修を志望しました。高度に専門分化していて、当直の時間帯でもほぼすべての科の専門医がいます。そのため、夜間や休日でも専門医からの意見を聞くことができ、非常に心強いです。



8:00~

術前 カンファレンス

1週間分の手術予定症例の提示を行います。色々な先生の意見を聞きながら、手術内容の最終決定を行います。



8:45~

手術

担当している症例以外にも、第2、3助手として手術に参加することもあります。色々指導をいただき大変勉強になります。



13:00~

検査

化学療法に必要なCVポート造設や、術後の患者さんのドレーン造影や経口造影などを行います。



18:00~

肝胆膵 カンファレンス

消化器内科との合同カンファレンス。症例提示し、治療方針について話し合います。

初期臨床研修



どの専門分野にも求められる 臨床能力を身につける

初期臨床研修では、医師としての基盤を形成する重要な時期に、将来専門とする分野にとらわれることなく診療できる臨床能力を身につけることが重要であると考えています。初期臨床研修は、高度に専門分化した各診療科を備える総合医療センターが中心となり各研修協力施設と連携しながら、専門医療だけでなく医師としての基本的臨床能力の確実な習得を図ることで、全人的医療を実践することができる幅広い視野を持った総合臨床医の育成をめざしています。

初期研修 3 POINT

1 豊富な症例数

市中病院でありながら、54の診療科を有し、大学病院並みの症例数を誇る当院での初期研修は一般的な疾患から、専門医療を要する疾患まで、幅広く経験することが可能です。

2 充実した指導体制

当院には指導医養成講習会を受けた指導医が65名(令和4年3月現在)おり、各科に経験豊富な指導医が揃っています。また、看護部門をはじめとして薬剤部門、医療技術部門の協力も得ながら、病院全体で研修医の育成にあたっています。

3 質の高い研修環境

年間約200件程度開催される各種講座、専門分野の医師・技師の指導による実習、学会発表のサポートなど、充分研修できる機会を設け、医療情報の入手環境の整備を行うなど、質の高い研修の提供に努めています。

→ INTERVIEW ←



教育研修センター
副部長

天羽 清子さん

幅広くかつ深く共に学びましょう。

当院は、高度救命救急センター・外傷センター・小児医療センター・臨床研究センターなどを有しており、感冒などのcommonな疾患から3次対応の重症例まで、内科疾患から外傷をはじめとする外科的疾患まで、生まれてすぐの赤ちゃんから高齢者まで、臨床から研究まで、幅広く豊富な症例を勉強することができます。また、当院の良いところは、

細分化された診療科それぞれに専門家がいますが、科と科の間の垣根が低いため相談しやすく、患者さんを横断的に診断し治療につなげられることです。当院での研修は幅広くかつ専門的に行われ、必ずこれからの医師人生に役立ちます。忙しい研修ですが、是非私たちと一緒に学んでいきましょう。

研修プログラム

総合医療センターでは、各科の到達目標の特殊性を考慮して、内科(24週)、救急科(12週)、外科(8週)、産婦人科、小児科、精神科、地域医療(各4週)を必修としています。これらの科は研修の内容を配慮し、経験しておくべき科であると考えたことに加え、将来どのような科を専攻するとしても、残りの選択期間(44週)で十分な症例数を研鑽できることが大きな理由です。

高度に細分化・専門化されている当センターですが、医師として経験すべき初期対応能力の重要性も充分認識し、バランスの良い研修を提供するよう努力しています。また、チーム医療の意義を自覚してもらうため、看護部門をはじめとして薬剤部門、医療技術部門との交流も重視し、幅広い視野を持った研修医の育成を行っています。

▶ 研修スケジュール(例)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科(24週)						選択科(4週)	救急科(12週)			外科(8週)		産婦人科(4週)
2年次	小児科(4週)	精神科(4週)	地域医療(4週)	選択科(40週)									

▶ 研修プログラム(令和4年度)

必須科目
7科目／計60週

- 内科(24週) 12科から3科を選択
総合診療科、糖尿病内科、内分泌内科、
腎臓・高血圧内科、循環器内科、呼吸器内科、
消化器内科・肝臓内科、血液内科、
感染症内科、腫瘍内科、脳神経内科、
初期急病診療部
- 救急科(12週)
- 地域医療(4週)
研修協力施設
「国民健康保険日南病院(鳥取県)」
「高浜町和田診療所(福井県)」
「隠岐広域連合立隠岐病院(島根県)」
「公立穴水総合病院(石川県)」
「地域包括支援センター(大阪府)」
「訪問看護ステーション(大阪府)」
「大阪府内のクリニック」
- 小児科(4週)
- 精神科(4週)
- 産婦人科(4週)
- 外科(8週)

選択科目
44週

- 当施設に設置のすべての診療科の中から選択

▶ 研修診療科の選択

研修診療科の選択は、選択科を含め、各研修医の希望を考慮しながら決定します。研修の期間は4週単位で当該診療科と調整のうえで設定します。また研修の時期は2年次に精神科、地域医療研修を行う以外は診療科と研修医のバランスを考慮しながら、調整を行います。なお、地域医療研修はへき地医療研修施設を含め、大阪府内のクリニックで研修するコースもあります。



後期臨床研修



後期臨床研修でなにを学ぶか。

後期研修の役割は、初期研修で修得した基本的臨床能力を基盤に、高度な専門性とより幅広い臨床能力を身につけることだと考えています。総合医療センターを中心にすべての診療科で高度専門医療から地域密着型医療に至るまで幅広い診療を行っているため、高度な専門性と総合的な診療能力双方の習得が可能です。また、多数の専門医の研修指定施設に認定され、全国トップレベルの症例の豊富さと多様さを誇ることから、効率よく専門医資格を取得することが可能です。

後期研修3POINT

1 豊富な症例数

大学病院並みの症例数を有しており、多くの症例を経験できます。大半の領域で1~2年で専門医資格取得のために必要な症例数が確保でき、早い段階からサブスペシャリティを意識した研修が可能です。

2 魅力的な研修環境

専門知識を有する指導医が数多く在職しているので、安心して研修ができます。また、様々な専門資格を有した医師以外の医療スタッフが在職しているため、専門分野に限らず幅広い知見を得ることができます。

3 将来を見据えた研修が可能

当院は13の基本領域で基幹施設の認定を受けていますが、サブスペシャリティ領域でも多くの領域で基幹施設として申請する予定です。そのため、キャリアパスに応じた柔軟な研修が可能となります。

臨床能力に不可欠な「人間性」も磨いてください。

当院は病床数1063床、1次から3次救急を含めた新入院患者数年間約2万3千人で、大学病院並みの豊富な症例を提供しており、毎年全国の大学や研修病院から情熱にあふれた若手医師を数多く受け入れています。54の診療科があり、医局では診療科の垣根を越えて初期・後期研修医が集い、活発なコミュニケーションを図ることができるのも当院

の大きな特色のひとつです。症例の相談だけでなく悩みや夢を語り合い、医師として力強く歩んでいきたいと思っています。後期研修をどう過ごすかで、その後の臨床能力が決まると言っても過言ではありません。高度医療の研鑽と共に、全人的医療、チーム医療で力を発揮できる人間性豊かな医師に成長してください。一緒に学んでいきましょう。

教育研修センター長

川崎 靖子さん

基本領域研修プログラム

平成30年度より新専門医制度における各科の専門研修プログラムに沿った後期研修を行っています。総合医療センターでは、19の基本領域のうち13の領域において基幹施設としての認定を受けており、各領域とも連携施設との連携を図りながら、専門医資格の確実な取得に向け充実した研修プログラムを提供します。

▶ 研修プログラム ※下記は一例であり、各専攻医の希望と受け入れ先との調整で決定します。

領 域	診 療 科	研修 期間	専攻医				連携施設等
			1年目 (卒後3年目)	2年目 (卒後4年目)	3年目 (卒後5年目)	4年目 (卒後6年目)	
内 科	総合診療科	3	総合医療センター	連携施設 6カ月～1年	総合医療センター	●大阪市立十三市民病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●大阪市立弘済院附属病院 ●医療法人藤井会 石切生喜病院 ●国立循環器病研究センター ●社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会中津病院 ●淀川キリスト教病院 ●公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 ●関西電力病院 ●一般財団法人 甲南会 甲南医療センター ●京都同本記念病院 ●兵庫県尼崎総合医療センター ●京都府立医科大学附属病院 ●洛和会 丸太町病院 など	
	初期急病診療部						
	感染症内科						
	糖尿病内科						
	内分泌内科						
	腎臓・高血圧内科						
	脳神経内科						
	循環器内科						
	呼吸器内科						
	消化器内科						
	肝臓内科						
	腫瘍内科						
	血液内科						
	緩和医療科						
外 科	呼吸器外科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	●大阪市立十三市民病院 ●国立病院機構 大阪医療センター ●公立豊岡病院 但馬救命救急センター ●臨岐広域連合立陽岐病院 ●淀川キリスト教病院	
	心臓血管外科						
	消化器外科						
	肝胆膵外科						
	乳腺外科						
	小児外科						
	小児心臓血管外科						
産婦人科	産科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	●大阪市立十三市民病院 ●泉大津市立病院 ●医療法人藤井会 石切生喜病院 など	
	婦人科						
麻酔科	麻酔科	4	総合医療センター		総合医療センター または十三市民病院	総合医療センター または連携施設	●神戸市立医療センター中央市民病院 ●大阪市立十三市民病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●奈良県立医科大学附属病院 など
小 児 科	小児総合診療科	3	総合医療センター		連携施設	●大阪旭こども病院 ●大阪急性期・総合医療センター ●耳原総合病院 ●堺市立総合医療センター など	
	小児代謝・内分泌内科						
	小児血液腫瘍科						
	小児脳神経内科						
	小児循環器内科						
	小児不整脈科						
	小児救急・感染症内科 新生児科						
精神科	精神神経科	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	●大阪市立大学医学部附属病院 ●総合病院 浅香山病院 ●天心会 小阪病院 ●社会医療法人北斗会 さわ病院 ●社会医療法人北斗会 ほくとクリニック など	
	児童青年精神科						
整形外科	整形外科	4	総合医療センター	連携施設		●大阪市立大学医学部附属病院 ●社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会中津病院 ●淀川キリスト教病院 ●独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院 ●大阪市立十三市民病院 など	
	小児整形外科						
眼 科	眼科	4	総合医療センター		連携施設	総合医療センター	●大阪市立十三市民病院 ●枚方公済病院 ●関西電力病院 ●京都大学医学部附属病院 など
	小児眼科						
救急科	救命救急部	3	総合医療センター	連携施設		●大阪市立大学医学部附属病院 ●社会医療法人愛仁会 高槻病院 ●関西労災病院 ●社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院 ●りんくう総合医療センター ●臨岐広域連合立陽岐病院(関連施設) など	
形成外科	形成外科	4	連携施設		総合医療センター		●さつこう会 多根総合病院 ●社会医療法人生長会 府中病院 ●宝生会 PL病院 ●八尾徳洲会総合病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●株式会社互恵会 大阪回生病院 など
	小児形成外科						
病 理	病理診断科	3	総合医療センター	総合医療センターまたは連携施設		●大阪市立十三市民病院 ●南大阪病院 ●大阪市立大学医学部附属病院 ●社会医療法人愛仁会 高槻病院 など	
臨床検査	中央臨床検査部	3	総合医療センター(週1回連携施設で研修)				●大阪市立大学医学部附属病院
総合診療	内科・小児科・救急	3	総合医療センター	連携施設	総合医療センター	●公立豊岡病院組合立 豊岡病院 日高医療センター ●公立豊岡病院組合立 朝来医療センター ●ろっぽう診療所	

【専門修練医】

サブスペシャリティ研修プログラム

専門研修プログラム修了者で、医師免許取得後5年以上の臨床経験を有した者が、より高度で専門的な知識や技能(サブスペシャリティ)の習得を行うため、日々の診療業務に従事しながら各分野の

スペシャリストをめざします。また、専門領域の研鑽とともに、的確な判断・診療のできる指導者・チームリーダーとしての役割を果たせる能力の習得を図ります。

HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立総合医療センター

〒534-0021 大阪府都島区都島本通2丁目13番22号
TEL:06-6929-1221

54の診療科を擁する、大阪市内最大の公立中核病院

1063床を有する大阪市内最大の病院で、11の臓器別センター、54の診療科を擁しており、大阪市中核病院として高度急性期医療を提供しています。医師は本務医253名、研修医184名で、全診療科に専門医を有しています。手術件数は全国19位、全身麻酔では東京を除いて全国4位で、ハイブリッド手術室もあり、新生児から高齢者までのあらゆる手術を行っています。さらに、「ロボット支援手術」をより広く、より早く患者さんに提供できるように最新の「ダビンチXi」を西日本で初めて2台体制に強化しました。がん医療では全国50か所の「高度型の地域がん診療連携拠点病院」、全国15か所の「小児がん拠点病院」、全国33か所の「がんゲノム医療拠点病院」に選ばれており、小児から成人までの幅広い年齢層にがん診療を実施

しています。小児医療では17の診療科・154床からなる「小児医療センター」で高度な専門医療を提供しています。周産期医療では高度な周産期医療を行える「総合周産期母子医療センター」、救急医療では「3次救急医療機関」と「小児救命救急センター」、また市内唯一の「感染症指定医療機関」でもあります。さらにスーパーICU、PICU、SCU、HCUはもとより、AYA世代病棟、成人と小児それぞれの精神科病棟も有しています。また総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる「総合入院体制加算1」を取得しており、大学病院本院なみの医療機能を有する「DPC特定病院群」や「地域医療支援病院」でもあります。日常診療以外にも、「臨床研究センター」で臨床研究や治験に積極的に取り組んでいます。

● 高度専門的医療の提供

●救命救急センター(3次救急) ●小児救命救急センター ●日本医療機能評価機構認定病院 ●地域がん診療連携拠点病院(高度型) ●小児がん拠点病院 ●大阪府災害拠点病院 ●第一種・第二種感染症指定医療機関 ●総合周産期母子医療センター ●エイズ診療中核拠点病院 ●地域医療支援病院 ●産婦人科診療相互援助システム基幹病院 ●新生児診療相互援助システム基幹病院 ●臨床研修指定病院(基幹型) ●精神保健福祉法指定医療機関(緊急措置入院) ●母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設 ●がんゲノム医療拠点病院



大阪市立総合医療センター
病院長

西口 幸雄 病院長

INTERVIEW

素直で誠実な向上心のある若者を待っています。

当院は91の学会認定研修・教育施設等に認定されており、あらゆる診療科で幅広い研修の場が用意されています。初期臨床研修病院ランキングでも常にトップクラスです。さらに出身大学も61大学と数多く、また1063床を有する大阪市内最大の病院であるにもかかわらず、診療科間の垣根が低いことも研修医に評判となっています。当院はJR環状線桜ノ宮駅から、また大阪メトロ都島駅からほど近く、どこへ行くのも便利な場所に位置します。春には近く

の大川沿いの桜は見事で、夏は天神祭りの船渡御と花火が有名です。総合医療センターでは研修医の人材育成には指導医一同努力を惜しみません。熱心な指導医が多く、当院の将来を担えるような人材に会えるのを楽しみにしています。素直で誠実で向上心のある研修医はかならず成功します。熱意のある若者は当院で研修しませんか!必ず良かったと思いますよ。職員一同待っています。

DATA

● 基本方針

1. 患者さんの健康に生きる権利と人間としての尊厳が尊重されるよう配慮するとともに良質な医療を平等に提供する。
2. 大阪市中核病院として地域医療機関との適切な役割分担のもとに連携を強化し、市民の「健康と生命を守る最後の拠り所」として必要な医療を提供する。
3. 医療安全対策への取り組みや個人情報の保護など安心して医療を受けられる環境を整備する。
4. 感染症医療、救急医療、災害医療、小児・周産期医療、精神医療などの政策医療ならびに臓器・疾患別の専門医療を提供する。
5. 最新の医療機器を導入するとともに臨床に直結する研究を行い、その成果を医療現場に還元することで医療水準の向上を図る。
6. 医療従事者のスキルを向上させる仕組み、キャリアアップの仕組みを実践することで専門的な知識や高度な先端技術を備えた医療人を育成する。
7. 健全な経営基盤を確保し、継続して良質な医療を提供できる体制を整備する。

● 大阪市立総合医療センター 3Hの理念

Heart For Public Service	広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。
Humane	人間味あふれる温かな医療を実践する病院をめざす。
High Technology	高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

○病床数:1,063床 ○診療科目:総合診療科/糖尿病内科/内分泌内科/腎臓・高血圧内科/精神神経科/脳神経内科/皮膚科/循環器内科/呼吸器内科/消化器内科/肝臓内科/感染症内科/腫瘍内科/血液内科/緩和医療科/外科/整形外科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/頭頸部外科/婦人科/形成外科/口腔外科/脳神経外科/脳血管内治療科/心臓血管外科/呼吸器外科/消化器外科/肝胆膵外科/乳腺外科/産科/新生児科/小児総合診療科/小児代謝・内分泌内科/小児神経内科/小児循環器内科/小児不整脈科/小児血液腫瘍科/児童青年精神科/小児外科/小児整形外科/小児泌尿器科/小児眼科/小児耳鼻いんこう科/小児形成外科/小児脳神経外科/小児心臓血管外科/小児言語科/小児救急・感染症内科/麻酔科/放射線診断科/放射線腫瘍科/病理診断科/リハビリテーション科

すみれ病棟		さくら病棟		
臨床腫瘍センター	緩和医療科	18F	整形外科・糖尿病内科・内分泌内科 腎臓・高血圧内科	糖尿病・内分泌センター
	腫瘍内科・血液内科	17F	血液内科・腫瘍内科	
呼吸器センター	消化器内科・消化器外科	16F	消化器内科・消化器外科・肝臓内科・肝胆膵外科	消化器センター
	呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍内科・皮膚科	15F	AYA世代病棟	
腎センター	泌尿器科・腎臓・高血圧内科	14F	耳鼻いんこう科・頭頸部外科・口腔外科・形成外科・整形外科	脳神経センター
	眼科・糖尿病内科・脳神経内科	13F	整形外科	
循環器センター	腎移植・透析科・外来化学療法室	12F	脳神経外科・脳血管内治療科・SCU・脳神経内科	総合周産期母子医療センター
	循環器内科・心臓血管外科	11F	総合診療科・循環器内科・初期救急・肝臓内科・肝胆膵外科	
感染症センター	感染症内科・総合診療科・小児救急・感染症内科	10F	婦人科・乳腺外科・腫瘍内科・消化器内科・消化器外科	小児医療センター
	産科・MFICU	9F	NICU・GCU・新生児科	
	精神神経科	8F	児童青年精神科	
	小児科	7F	小児科	
	小児科	6F	小児科	

5F	患者図書室、わくわくひろば、コンビニエンスストア、医局	さくらホール
4F	救命救急センター・集中治療センター・ICU・ECU・CCU・PICU・HCU	
3F	手術センター、検査部門	
2F	外来診療部門、画像診断部門	
1F	外来診療部門、救命救急センター受付、ER・外傷センター、リハビリテーション部、カフェレストラン	
MB	設備スペース	エネルギーセンター
B1	核医学・放射線治療部門、物品管理供給部門、栄養部門	

HOSPITAL GUIDE

[大阪市民病院機構 病院ガイド]



大阪市立十三市民病院

〒532-0034 大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
TEL: 06-6150-8000

地域の中核病院として急性医療を担う。

令和4年春現在、大阪市立十三市民病院は新型コロナウイルス感染症(新型コロナナ)に対する重点医療機関となって約2年が経過し、多数の感染症患者の入院診療を担っていますが、そもそも感染症(結核)病棟を有する19の診療科からなる総合病院で、地域の中核病院として専門医が質の高い医療を行い、急性期医療の充実に努めています。特色としては内視鏡センターにおいて、消化管および胆膵内視鏡検査とそれに伴う内視鏡治療など、内視鏡研修が行いやすい環境になっており、外科系診療科では鏡視外科手術など低侵襲治療を積極的に導入しています。大阪府がん診療拠点病院で終末期医療まで行う一方、周産期医療については母子同室での母乳育児を推進し「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されています。また、政策医療である感染症医療については、平成22年2月に旧大阪市立北市民病院から結核病棟を移設し、現在は新型コロナ診療を行っています。さらに市町村災害医療センターとして、地域における災害医療の中心的な役割を担っています。今後は、新型コロナで休止中の内科2次救急を再開、幅広い医療を提供しながら地域医療機関との連携を深め、状況に応じて求められる医療を提供していきます。

DATA

●大阪市立十三市民病院 基本理念

市民に信頼され、地域に貢献する病院をめざします。
人間味あふれる温かな医療を実践する患者中心の病院をめざします。
将来にわたり、市民の医療ニーズに応える病院をめざします。

●病床数: 263床 ●診療科目: 総合診療科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/呼吸器内科/感染症内科/小児科/消化器内科/外科/消化器外科/整形外科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻いんこう科/麻酔科/放射線科/リハビリテーション科/病理診断科

9F	すかいルーム・ヘリポート
8F	病棟(結核病棟)
7F	病棟(糖尿病内科、整形外科、眼科)
6F	病棟(消化器内科、外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科)、HCU
5F	病棟(内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科)
4F	病棟(新生児未熟児室、産婦人科、小児科)
3F	手術室、中央材料室
2F	外来診療室、中央臨床検査部
1F	入院外来受付、外来診療室、リハビリ室、放射線科、薬剤部
B1	内視鏡センター、栄養部、機械室

INTERVIEW

数多くの疾患をしっかりと学ぶ熱意ある医師を歓迎いたします。



大阪市立十三市民病院
病院長

倉井 修 病院長

大阪市立十三市民病院は、感染症病棟を有する地域密着型の急性期病院です。263床、19の診療科で構成され、多くの専門医が質の高い医療を行い、急性期医療の充実に努めています。当院が扱う疾患は、がんをはじめ一般的な病気です。がんについては、鏡視外科手術を取り入れ、低侵襲で根治できる治療を行っています。また、内視鏡センターにおいて上部・下部消化管内視鏡検査、胆膵内視鏡検査および附随する内視鏡治療が行われ、内視鏡研修に適した環境になっています。それぞれの診療科に専門医がいて、診療科間の垣根も低いので、専門的な

治療も最新の治療も、ほぼ1対1で学ぶことが可能で、救急症例も経験できます。さらに、多職種によるチーム医療も積極的に行っています。現在は災害級の感染症である新型コロナウイルス感染症患者(新型コロナ)の入院診療にも対応していますが、これからの急性期医療を担っていく研修医の皆さんは、多くの疾患と向き合い、専門医から十分な指導を受ける必要があります。キャリアの初期段階で新型コロナを含めたあらゆる症例が経験可能な当院で研修することは、きっと将来に役立つでしょう。熱意のある医師を大いに歓迎いたします。

PICK UP!

教育研修センター



病院の理念を実践できる人材の育成を。

医師をはじめとした医療専門職が、それぞれの専門性を高めることを支援するために、総合医療センターに教育研修センターを設置しています。教育研修センターは、基本理念を「医療全般にわたる知識・技術を身につけ、人間味あふれる温かな医療を実践するにふさわしい医療人の育成をめざす」としています。そのために、医師、看護師および事務職員を配置し、研修生活全般のサポートを行っています。初期研修医の教育・育成に関しては、臨床の場ですぐに必要となる幅広いテーマについて、経験豊富な専門医や医療技術部門の協力を令和2年度は197回の臨床教育研修講座を開催しました。また、個人面談を通じて研修状況を詳しく把握しています。後期臨床研修に関しては、総合医療センターは19の基本領域中13領域で基幹施設となっています。そのため、各領域の担当診療科と常に情報を共有するとともに、研修管理委員会等の開催を通じて、各領域専門研修プログラムの管理と改善に取り組んでいます。また、臨床研修においては、最新の医学情報を迅速かつ容易に入手

できる環境が不可欠です。そのため、教育研修センターでは図書室の運営も行っています。現在、閲覧可能な電子ジャーナルのタイトルは3,000以上あり、UpToDateなどの臨床支援ツールも導入しています。今後も研修医の皆さんにとってより良い環境を提供していくために、各部門・各診療科と連携し、改善を続けていきます。

令和2年度
臨床教育研修講座

197回

閲覧可能な
電子ジャーナルのタイトル

3,000以上

Q | 出身大学は？

A | 初期研修医では、大阪市立大学、大阪大学、滋賀医科大学、東京医科大学、近畿大学、熊本大学などを卒業された方が在籍しており、後期研修医では、大阪市立大学、和歌山県立医科大学、大阪医科大学、兵庫医科大学、名古屋市立大学、徳島大学、大阪大学、川崎医科大学、近畿大学、京都府立医科大学などの全国の医系大学出身の方が在籍しています。

○ | 研修医は何名在籍していますか？

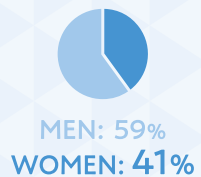
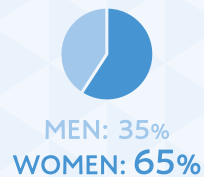
A | 市民病院機構全体で初期研修医は1年目17名、2年目14名の計31名。後期研修医は専攻医が96名、シニアレジデントが70名の計166名が在籍しています。

○ | 女性医師は何名在籍していますか？

A | 市民病院機構全体でスタッフ69名、初期研修医20名、後期研修医67名の女性医師が在籍しています。女性の指導医も多く、親身になって相談にも応じていますので、女性の方も安心して研修を受けることが可能です。

【初期研修医男女比】

【後期研修医男女比】



○ | 子育て制度はありますか？

A | 総合医療センターの隣接地に、院内保育所を設置しています。また、産前・産後休暇や、子どもが急病の時などに取得が可能な、子の看護休暇、その他有児休業や短時間勤務の制度を設けています。

- 基本保育時間

一般保育(月~土) 07:30~20:30

一時保育(月~土) 07:30~20:30

日曜・祝日保育————— 07:30~20:30

※年末年始(12月29日~1月3日)除く

Q | 研修環境について教えてください

A | 各病院内に医局及び図書室を設置しています。また、総合医療センター隣にある都島センタービル内にはシミュレーションルームを設置しており、高機能シミュレーターを使ったシミュレーションや演習を行っています。



○ | 臨床研究センターについて教えてください。

A | 臨床研究センターにおいて、研究室及び動物実験室を利用した診断と治療に直結する臨床研究を行っています。また外科系では、手術のトレーニングと術式の開発にも実験室を利用しており、貴重な研修の場となっています。



▶ 学会等による施設認定の状況 （令和4年3月現在）

●大阪市立総合医療センター

認定施設	
日本内科学会教育病院	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構修練施設
日本リウマチ学会教育施設	日本脈管学会認定施設
日本病院総合診療医学会認定施設	胸部外科教育施設協議会修練施設
日本糖尿病学会認定医教育施設	日本呼吸器外科学会認定施設
日本内分泌学会教育施設	日本消化管学会胃腸科指導施設
日本甲状腺学会認定専門医施設	日本消化器外科学会専門医修練施設(認定施設)
日本腎臓学会研修施設	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会認定施設
日本高血圧学会研修施設	日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
日本精神神経学会研修施設	日本静脈経腸栄養学会教育施設
日本総合病院精神医学会専門医研修施設	日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士認定教育施設
日本総合病院精神医学会電気けいれん療法研修施設	日本大腸肛門病学会認定施設
日本神経学会認定准教育施設	日本痔瘻学会指導施設
日本皮膚科学会研修施設	日本食道学会専門医認定施設
日本循環器学会研修施設	日本胆道学会指導施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設	日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A
日本不整脈心電学会専門医研修施設	日本乳癌学会認定施設
日本呼吸器学会認定施設	日本周産期・新生児医学会新生児認定基幹施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設	日本周産期・新生児医学会母体・胎児認定基幹施設
日本アレルギー学会教育施設	日本小児科学会基幹施設
日本消化器内視鏡学会指導施設	日本小児感染症学会指導医教育研修プログラム施設
日本消化器病学会認定施設	日本糖尿病学会連携教育施設(小児科)
日本肝臓学会認定施設	日本小児神経学会研修施設
日本感染症学会研修施設	日本でんかん学会研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本小児循環器学会修練施設
日本臨床腫瘍学会研修施設	日本小児血液・がん学会研修施設
日本血液学会研修施設	日本小児外科学会認定施設
日本緩和医療学会認定研修施設	日本麻酔科学会認定病院
日本外科学会外科専門医修練施設	日本心臓血管麻酔学会認定施設
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設	日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関
日本整形外科学会研修施設	日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
日本脊椎椎間病学会外科専門医基幹研修施設	日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設
日本手外科学会研修施設	日本核医学会専門医教育病院
日本透視医学会認定施設	日本病理学会研修認定施設B
日本泌尿器科学会教育施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本眼科学会眼科専門研修基幹施設	日本臨床細胞学会教育研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本頭頸部外科学会準認定施設	日本臨床検査医学会認定施設
日本耳科学会研修施設	日本超音波医学会研修施設
日本鼻科学会研修施設	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会研修施設
日本産科婦人科学会専攻医指導施設	日本救急医学会指導医認定施設
日本婦人科腫瘍学会修練施設	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本産科婦人科内視鏡学会研修施設	日本アフレル学会認定施設
日本形成外科学会認定施設	日本急性血液浄化学会認定施設
日本口腔外科学会研修施設	日本熱傷学会研修施設
日本脳神経外科学会研修施設	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本脳神経血管内治療学会研修施設	

●大阪市立十三市民病院

認定施設
日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本糖尿病学会認定教育施設
日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
日本呼吸器学会認定施設
日本小児科学会専門医研修関連施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度認定指導施設
日本肝臓学会認定施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本大腸肛門病学会認定施設
日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度修練施設
日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医拠点教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)暫定認定施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本麻酔科学会認定病院
日本静脈経腸栄養学会認定教育施設
日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
日本臨床栄養代謝学会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設
日本臨床栄養代謝学会認定NST(栄養サポートチーム)認定教育施設
日本乳がん検診精度管理中央機構認定マンモグラフィ検診施設
日本病理学会研修施設
日本乳癌学会関連施設
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本脾臓学会認定指導施設
日本病理学会研修施設
日本乳癌学会関連施設
日本産科婦人科内視鏡学会研修施設
社団法人日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設

病院見学会 (要予約)

納得のいく臨床研修にしたいと
思う方はぜひお越しください。

初期研修については、医学部5年生・6年生を対象とした病院見学会を開催しています。開催日程等については、大阪市民病院機構ホームページをご覧ください。後期研修の病院見学については、随時受け付けております。



日程、対象者など詳しい情報はこちらからご確認ください。

<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/practice/>



<https://www.osakacity-hp.or.jp/byouin/resident/initial/about-2/>

